

平成23年度日本小児外科学会
第5回定例理事会議事録

日 時：平成23年12月16日（火） 11:00～16:00

会 場：八重洲ホール 902号室

出席者：田口智章（理事長）、仁尾正記（副理事長）、上野 滋（理事・会長）、濱田吉則、
菫澤融司、前田貢作、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡（以上理事）、窪田昭男、
土岐 彰（以上監事）、小室広昭（庶務委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、吉澤
穰治（財務会計委員長）、渡井 有（財務会計副委員長）家入里志、平川 均（以
上庶務委員）、村上 聡（事務局）

欠席者：岩中 督（理事・副会長）、橋本 俊（監事）

議事案件：

議 事：

1. 第5回定例理事会の議事録署名人は、菫澤融司理事、窪田正幸理事とした。

2. 平成23年度第4回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

3. 報告事項

1) 理事長報告

田口理事長より以下の報告があり、了承された。

(1) 日本医師会からの寄贈本「JMAJ Vol. 54-No. 10」を受領した。

(2) 日本麻酔科学会からの寄贈本「Journal of Anesthesia Vol. 25-No. 5」を受領した。

(3) 第28回日本医学会総会からの通信文「日本医学会総会の開催の報告」を受領した。

(4) 科学技術振興機構からの通信文「J-STAGE NEWS NO. 29」を受領した。

(5) 厚生労働省からの冊子「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 284～285」を受領した。

(6) 日本医療機器産業連合会からの寄贈本「医機連ニュース第75号」を受領した。

(7) 難病のこども支援全国ネットワークからの冊子「がんばれ！Vol. 129」を受領した。

(8) 日本医療機能評価機構からの冊子「2011年度ニューズレター第4号」を受領した。

(9) 日本医師会治験推進センターからの通信文「治験推進研究事業における治験候補薬及び治験候補機器の推薦依頼について」を受領し、保険診療委員会にて対応することとなった。

(10) がん臨床研究事業（研究者代表 池田均）からの通信文等「研究成果発表会のチラシ、プログラム・抄録の案内」を受領した。

(11) 日本予防医学協会からの通信文「再生医療技術及び遺伝子治療技術の難治性疾患治療への応用 研究発表会案内」を受領した。

- (12) 日中医学協会からの通信文「助成金募集周知に関する協力のお願い」を受領した。
- (13) 日本小児感染症学会からの通信文「小児臓器移植および免疫不全状態児への予防接種ガイドライン作成 委員推薦の御礼」を受領した。
- (14) 日本胸部外科学会からの通信文「理事長交代の挨拶」を受領した。
- (15) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol. 41-No. 11~12」を受領した。
- (16) 医学書院からの寄贈本「医学研究者名簿」を受領した。
- (17) 外科系学会社会保険委員会連合からの寄贈本「社会保険診療報酬に関する改正要望書」(CD-ROM 版)を受領した。
- (18) 外科系学会社会保険委員会連合からの通信文「市民公開シンポジウムのポスター・チラシ」を受領した。
- (19) 日本小児医療政策研究会からの通信文「第 8 回日本小児医療政策研究会 後援名義使用のお願い」を受領した。
- (20) 日本医学会からの冊子「2012 年日本医学会分科会総会一覧」を受領した。
- (21) 外科系学会社会保険委員会連合からの寄贈本「外保連試案 2012」を受領した。
- (22) 日本専門医制評価・認定機構からの通信文「第 3 回市民健康フォーラム開催のご案内」を受領した。
- (23) がん対策基本計画について、厚生労働省からの資料に基づき、小児がんに関して報告がなされ、了承された。
- (24) 厚生労働省「専門医の在り方に関する検討会」について、第 2 回および第 3 回の資料に基づき、報告があり、了承された。
- (25) 健やか親子 21 推進協議会について、参加団体に日本小児外科学会が入っていないことが報告され、過去に当該参加に関する審議を行ったかどうか確認し、追って事務局より詳細を報告することとなった。

4 審議事項

1) 第49回学術集会について（上野会長）

上野会長より、機関誌第47巻第7号へ掲載する第4次会告の資料を基に、プログラム内容の説明があり、承認された。

2) 第27回秋季シンポジウムについて（窪田前会長）

窪田前会長より、資料を基に開催報告（有料参加者308名、国外参加者24名、演題応募数60題など）がなされ、承認された。

また、第27回秋季シンポジウムに発表された内容について単行本化したいとの提案があり、費用は制作者（窪田前会長）負担とし、機関誌への論文投稿促進を明記することを申し合わせの上、承認された。

3) 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、承認された。

平成 23 年 11 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,861 名（うち海外 4 名）、評議員 293 名、名誉会員 57 名（うち海外 9 名）、特別会員 58 名（うち海外 1 名）の合計 2,269 名である。

4) 財務会計委員会（吉澤委員長）

吉澤委員長より以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・平成 23 年度会計中間報告が資料に基づいてなされた。
- ・市民公開講座への費用援助について、再検討の必要性が提案され、直近の開催状況等を調査することとなった。
- ・卒後教育セミナー規定につき、旅費規程の改定に従い、以下の方針で変更することが提案され、承認された。次回理事会にて規定改正案を財務会計委員会より提出することとなった。

1、宿泊費 15,000 円→12,000 円

2、謝金 講師・司会が委員会委員である場合→なし

講師・司会が委員会委員ではないが、会員である場合→10,000 円

講師・司会が非会員である場合→50,000 円

- ・卒後教育セミナーテキスト印刷業者について、経費縮減を図るため、教育委員会にて業者選定を再検討することが提案され、承認された。
- ・専門医制度試験問題印刷業者について、経費縮減を図るため、依頼業者を変更することが可能かどうか提案され、継続審議事項となった。なお、情報漏えい防止に関する信頼性が重要であることから慎重に検討すべきことが申し添えられた。

5) 各種委員会報告および審議事項

(1) 機関誌委員会報告

北川担当理事より、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・新しい機関誌刊行業務委託先である中西印刷との業務委託契約書案が、資料に基づいて提案され、審議の結果、以下を修正の上、承認された。

第 4 条 「理事長および理事長の依頼状に基づく・・・」

→「甲の代表者および甲の代表者の依頼状に基づく・・・」

- ・論文投稿先が中西印刷に変更されることに伴い、投稿規定内の投稿先の記述を修正することが提案され、承認された。また、投稿先変更については学会ホームページ掲載・会員へメール配信にて周知されることとなった。

(2) 国際・広報委員会

田口理事長より以下の通り報告され、承認された。

- ・途上国支援に造詣が深い高槻市民病院の石井智浩会員を国際・広報委員会委員に委嘱することにつき、メール審議にて承認されたことが報告された。ただし、石井会員は評議員ではないため、今回の委員就任については特例措置とすること、期限付任期（1 期のみ）にて委嘱することが確認された。
- ・学会ホームページ更新については、各委員がそれぞれ担当のページのチェックをし、適宜更新を行っている。

(3) 保険診療委員会

窪田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・外保連にて「外保連試案 2012」および「社会保険診療報酬に関する改正要望書」が完成した。
- ・大塚製薬工場と扶桑薬品工業から依頼のあった「小児外科領域における 20mL 注射剤の必要性について」の要望書を 2011 年 11 月 2 日に厚生労働省に提出した。

(4) 教育委員会

松藤担当理事より卒後教育セミナー第 28 回プログラム案が提案され、承認された。

また、第 49 回学術集会時に開催される内視鏡手術セミナープログラム案（腹腔鏡下噴門形成術における工夫と問題点）が提案され、承認された。

(5) 悪性腫瘍委員会報告

前田担当理事より以下の通り報告された。

- ・小児がん全数把握登録事業について、小児がん学会全数把握登録データを 2012 年以降にもらう予定であり、当該データが一次登録時に利用可能か検討中である。
- ・年次登録・追跡調査のデータ解析による有効利用に関し、第 49 回学術集会で「神経芽腫マスキリング休止後のデータ解析」（米田前悪性腫瘍委員長を筆頭者として、悪性腫瘍委員会の名前で）を発表予定である。

(6) 学術・先進医療検討委員会報告

濱田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・第 47 回演題集を作成し、ホームページへ掲載依頼をした。なお、ホームページ演題集の利用数を調査したところ、直近の 1 ヶ月間では 9 名が閲覧していた。
- ・ビデオライブラリーについては、平成 22 年度 6 作品・平成 23 年度 7 作品がテストサーバにアップされており、事前チェック後、ホームページへ掲載していく旨、提案され、承認された。
- ・平成 22 年度の文部科学省・厚生労働省日本学術振興会科学研究費の申請及び採択状況について、大学病院（文部科学省・厚生労働省科学研究費を対象）および大学病院以外の認定施設（厚生労働省科学研究費を対象）へアンケートを送付した。
- ・臼井規朗先生（大阪大学）の「平成23年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）新生児横隔膜ヘルニアの重症度別治療指針作成に関する研究」について、「新生児横隔膜ヘルニアに関する全国実態調査（一次調査）」の結果をホームページに掲載した。

(7) 倫理・安全管理委員会報告

蕪澤担当理事より、以下の通り報告され、承認された。

- ・臨床研究の利益相反に関する指針案および指針運用規則案、役員等の利益相反自

己申告書案、利益相反の開示用スライド雛形案が資料に基づき、提案された。

なお、当該規程類は、演題提出時から遡って1年間の利益相反を開示するものであることから、第49回学術集会から採用することが難しいため、第50回学術集会より適用していくこととなった。

また、当該規程の内容については、会員へホームページでパブリックコメントを求め、最終的に第49回学術集会の際の評議員会で報告（指針等の施行日は第49回学術集会終了日とする）していくこととなった。

・利益相反委員会を小委員会ではなく、常置委員会とすることを検討していきたい旨、提案され、承認され、第49回学術集会の際の評議員会で報告することとなった。

(8) 小児救急検討委員会報告

松藤担当理事より、以下の通り報告された。

- ・日本救急医学会小児救急特別委員会企画の小児初期診療 course の開発に支援すべくオブザーバーとして平成23年10月15日のPEACE preliminaryに参加した。
- ・第2回日本小児救急医学会教育セミナー2011in九州へ講師派遣をした。
- ・ホームページに各種委員会の項目に小児救急検討委員会を追加することが提案され、承認された。

(9) データベース委員会

前田担当理事およびNTT-PCより、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・NCDと専門医制度について
 - 1、NCD登録手術術式と日本小児外科学会専門医制度手術術式との擦り合わせについて、委員が分担して確認し、現在集計中である。
 - 2、専門医制度に関して、NCDより出力できるデータが、セキュリティに配慮し、NCDで加工した集計値のみとなること、および出力方式もCSV等のファイル形式ではなく、Web (API) 経由での表示となる。なお、集計値の詳細データを参照する場合は、NCD画面から直接参照することとする。
- ・オンライン選挙システムの維持管理費用について、2年間に1回の実施であり、且つシステム使用期間は2年間のうち約6ヶ月のみであるため、システム未使用期間の維持管理費を削減するよう再検討を依頼することとなった。
- ・会員管理統合システム構築にかかる最終費用については、財務会計委員会にて再検討することとなった。
- ・臨床データベースの利活用について、前田貢作先生(自治医科大学)を研究代表者とする厚労科研：臨床データベースに基づく小児外科救急医療体制の適正配置に関する研究(24200601)の申請に対する審査依頼があり、審議中である。

(10) 総合調整委員会

仁尾委員長より以下の通り、報告され、承認された。

- ・専門医制度規則改定については、次回評議員会に提出すべく、指導医の更新・認定登録医・名誉指導医の規定を加える準備を専門医制度委員会で検討中である。
- ・小児外科に関する卒前教育の実態を調査すべく、教育委員会が担当となって全国アンケートを行う予定である。
- ・専門医の適正配置については、年次報告書データを基に検討していく予定である。
- ・他の関連学会との連携については、特に専門医制度において、小児外科医の役割を鑑みた対応を検討していく。
- ・女性医師の支援については、日本外科学会の動向を確認し、対応策を検討していく。

6) 名誉会員・特別会員の推戴について

推戴基準見直し検討ワーキンググループでの審議結果を待って、次回以降の理事会にて推戴者を検討することとした。

7) その他

田口理事長より、日本小児内視鏡外科・手術手技研究会から「日本内視鏡外科学会技術認定制度委員会 委員交代に伴う新委員の承認依頼」について、山高篤行先生（順天堂大学）を小児外科領域の新委員とすることが提案され、次回理事会にて同委員を務める岩中副会長に詳細確認の上、審議することとした。

8) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は平成24年2月24日（金）11：00～16：00 日本外科学会会議室にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____